

平成 28 年熊本地震に被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます



のもと恵司コミュニティ通信

の も コ ミ

第 30 号

発行日: 2016/5/1

発行: のもと恵司後援会

埼玉県鴻巣市本町 1-8-14

電話: 048-543-1010

討議資料

平成 28 年度に何をすべきか

昨年 4 月の統一地方選挙にて 3 期目を自民党市議会議員としてスタートして 1 年、政府と直結した地方政策を実現することが私の使命であると信じ、中根一幸衆議院議員、中屋敷慎一県議会議員と、同志である自民党に所属する市議とともに「チーム鴻巣」として活動してまいりました。

やるべき政策は多種多様ありますが、最初になすべきことは「地方の時代における、地域の景気回復」だと確信し地域の取り組みをしてまいりました。

現在は人口減少対策のため、地方版総合戦略の策定を市とともに検討を重ねる一方、地域の景気回復という点では地域の事業者の経営が改善されることとなります。鴻巣市への税収となる法人市民税に影響するのは、市街に本社・本店を持つチェーン店ではなく、市内に多く存在している小規模事業者がいかに健全な経営ができるかによります。商工会の会員数を見ても減少傾向に歯止めがきかない状況です。それは、一部は事業者の高齢化によるものもあるかと思いますが、同時に後継者をつくれない経営状況ということにもなります。景気回復に人口増減は大きく影響します。GDP の拡大も、人口が維持できれば苦労はないと思います。しかし、人口を増加に導くにはまだ多くの課題があり、それこそ、地方版総合戦略を仕上げ、実行することで計画的に進めなければならないことです。

平成 28 年度はそのスタートの年です。「ひな人形と花のまち鴻巣市」の特徴を生かした実現可能な施策に精一杯取り組んで参ります。



いかに持続可能な地域を創るか

自民党鴻巣 3 支部(鴻巣・吹上・川里) 合同支部大会を 4 月 9 日(土) 鴻巣市市民活動センターにて開催しました。昨年 7 月に中屋敷慎一県議会議員が支部長になって、今回 2 回目の大会です。



講師には前総務大臣の新藤義孝衆議院議員をお招きし、今年度全国で取り組みを開始した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目指すものについてお話ししていただきました。

もともと、この地方創生という政策は新藤義孝衆議院議員が総務大臣の時に立案し、そのすべてに携わってきたことから、この政策の背景となる人口動態や世界を見据えた日本の経済成長戦略からこれから日本がどのような状況に置かれ、どうしていくことが日本の発展につながるのかをしっかりとらえた中で創られた政策です。そして、日本の人口が減っていく実情のなかで、いかに出生率を高めていくか、地方で生活するために仕事を作り出していけるか。地方の資源とアイデアを活かす「地域の元気創造プラン」ローカル 10,000 プロジェクトとして、経済効果をもたらす事業を採用していくこと。また、超高齢化・人口減少社会における持続可能な年・地域の形成のために、自治体インフラの民間開放などを取り入れて行くプランも、今年の総務省の資料をもとにお話しいただきました。また、実際に取り組まれている事例についても紹介され、我々にもよりリアルにイメージすることができました。これからできることはまだまだたくさんあります。力を合わせてやり遂げましょう。

市議会での一般質問の狙い

★鴻巣市の景気回復に向けて

12月議会の一般質問では鴻巣市の景気回復の見通しについて質問しました。鴻巣市は産業の大部分が小規模事業者です。本市の景気回復策は国・県・市、および事業者が連携し、努力をして初めて効果を得ると考えます。今年度スタートした新たな市の組織には産業振興課と観光戦略課があり、本市の景気回復に通じる施策が行われると考えられるので、市の景気回復の方向性について質問しました。

市の答弁は、国の交付金に県・市の補助金を加えて商工会が発行した「鴻巣コウノトリ商品券」は市内473事業所で利用でき、現在までに7億3千万円換金されています。(最終換金額 8億 1,098万 4,500円商工会発表) また、本市には花火大会をはじめとする多くのイベントが開催され、市内事業者が多数出店しています。一方で、国の中小企業庁では、中・小規模事業者向けのサポートサイト「ミラサポ」を開設しており、市のホームページからもアクセスできます。市や商工会では融資相談、情報提供も行っています。今後、市内経済団体との情報共有と連携も積極的に図っていきます。というものでした。私は、市の本気度を今後もっと表わしてもらいたいと思っているので、さらに市との意見交換をしていくつもりです。



自民党

のもと恵司 フロフィール

昭和35年11月23日生まれ 現在55歳
鴻巣市議会議員を3期目在職中。

鴻巣市本町1丁目中山道沿い「つけしん」4代目エルミこうのすにて「こうのすや」も経営。

これまで、鴻巣の商業仲間たちとともに、商業イベント「パーキングバザール」の開催や、エルミこうのすショッピングモールで、年間6回鴻巣を中心とした物産展を開催するなど、市民のみなさまにも喜ばれ、地域経済を生かす活動に携わってまいりました。

国のこれからの方針は、「地方創生～まち、ひと、しごと」の回復であり、地域が生きいきと輝くまちづくりです。そのためには、地域のお店や工場が健全な経営ができ、そのうえで地域に貢献していただけること。一時的な好景気ではなく、持続可能な地域経済を創り上げることが命題です。その実現のために、**自民党に所属し活動しています**。みなさまのご意見とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



鴻巣駅にて自殺予防キャンペーン

★自殺対策が前進

市議会提案で策定された「鴻巣市民のいのちと心を守る自殺対策条例」は平成27年4月1日から施行しています。

この条例の特徴は自殺対策基本法に則り、鴻巣市として取り組むべき課題、若者の自殺予防に重点を置き、学校や地域への広がりを盛り込んでいます。そして、平成28年度にはこの条例に従って自殺対策の基本計画を策定することとしています。

ちょうど国でも自殺対策基本法の改定が行われ、すべての地方自治体が自殺対策計画を作ることを平成28年4月1日から義務付けました。これは私たちが県に対して要望してきたことでもあり、ここでまた一步前進することになりました。

自殺は防ぐことのできるものであり、自殺を考えている人が発するサインに気づくことが予防につながるとされています。

今後もこの施策にご注目ください。

駅通り地区再開発スタート

長年の懸案であった鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業が3月1日、埼玉県から認可されました。これを受けて駅通り地区再開発組合が発足し、



正式なスケジュールが動き始めました。今後、10月以降取り壊し、年明けから2年間の建設工事が始まる計画です。

のもと恵司の活動報告は随時更新しています

1. パソコンやスマホ等のブラウザからの**のもと恵司**で検索してご覧ください。
2. フェイスブックも毎日投稿しています。友達申請にはメッセージを添えていただくと助かります。
3. お電話もお気軽に…

電話 048-543-1010